

9.4 民間企業等による再エネ主力化・レジリエンス強化促進事業

〈再エネの価格低減に向けた新手法による再エネ導入事業／再エネ熱利用・自家消費型再エネ発電等の価格低減促進事業〉

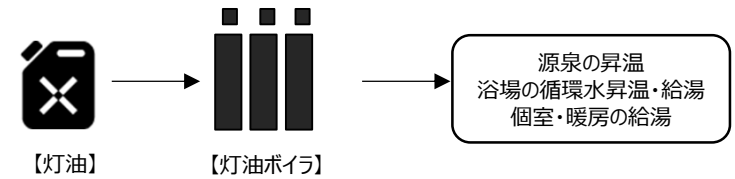
①チップボイラー設備への更新による施設の脱炭素化と地域の循環経済強化の両立

事業概要

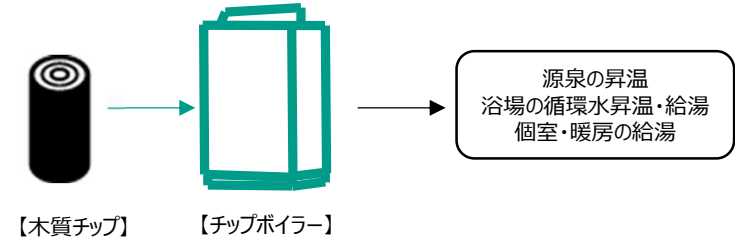
事業者概要	事業者名	丸岡温泉たけくらべ（坂井市）
	業種	卸売業/小売業/宿泊/飲食店
事業所	所在地	福井県
	総延床面積	2,522m <sup>2</sup>
補助金額	補助金額	約1,143万円
	補助率	1/3
主な導入設備	従前設備	灯油ボイラ設備
	導入設備	チップボイラ設備
事業期間	稼働日	2022年8月
区分		更新
特長		丸岡温泉たけくらべはボイラーの燃料として灯油を使用しており、化石燃料の使用により多くのCO <sub>2</sub> を排出していたが、本補助事業で、坂井市等で生じた間伐採から作られた木質チップを利用したチップボイラー設備に更新し、石油の削減とCO <sub>2</sub> 削減及び地域内の雇用維持、循環経済の強化につながった。

システム図

実施前



実施後



写真

チップボイラー



## 9.4 民間企業等による再エネ主力化・レジリエンス強化促進事業

〈再エネの価格低減に向けた新手法による再エネ導入事業／再エネ熱利用・自家消費型再エネ発電等の価格低減促進事業〉

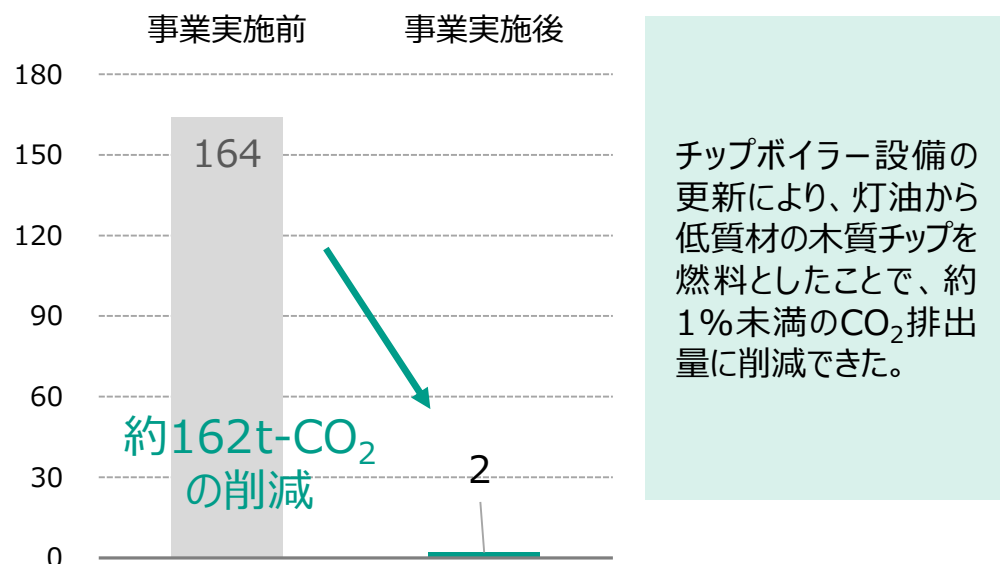
### ① チップボイラー設備への更新による施設の脱炭素化と地域の循環経済強化の両立

#### 事業の効果

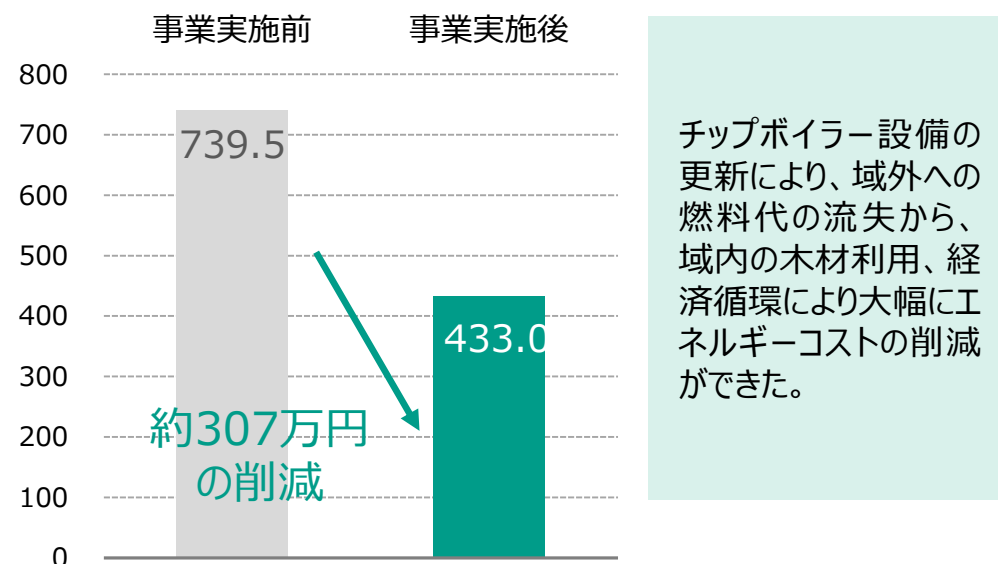
エネルギーコスト削減額		約307万円／年
投資回収年数	補助あり	約18年
	補助なし	約20年

CO <sub>2</sub> 削減量	約162t-CO <sub>2</sub> ／年
CO <sub>2</sub> 削減コスト	4,708円／t-CO <sub>2</sub>

#### CO<sub>2</sub>排出量 (t-CO<sub>2</sub>／年)



#### エネルギーコスト (万円／年)



#### 【脚注】

※ ここに示す事業の効果は、電力単価：22.7円／kWh（出典：電力・ガス取引監視等委員会）、灯油単価：112,222円／kWh（出典：資源エネルギー庁）、バイオマスチップ単価：15円/kg（出典：ヒアリング値）を用いて試算したものである。）

## ① チップボイラー設備への更新による施設の脱炭素化と地域の循環経済強化の両立

### 事業によって実現できたこと／事業前にあった課題及びその解決方法

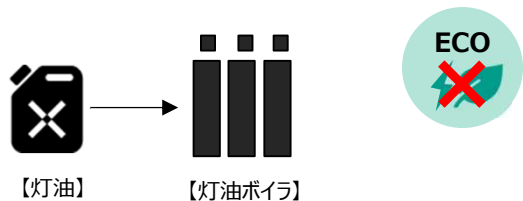
#### ■ チップボイラ設備への更新によって、CO<sub>2</sub>削減以外に、以下のような副次的効果があった。

- ・ 実施前は灯油ボイラーを利用しており、化石燃料の使用により多くのCO<sub>2</sub>を排出していたが、設備更新により、坂井市等で生じた間伐採から作られた低質材の木質チップを利用することで、地域内のバイオマスエネルギーを導入することとなり、灯油の削減等、化石燃料消費の削減等の環境負荷が軽減した。
- ・ 設備更新により、地域内の坂井市森林組合から木質チップを購入することで、地域内の経済が循環し、雇用維持の貢献にもつながった。

#### チップボイラの利用で環境負荷軽減

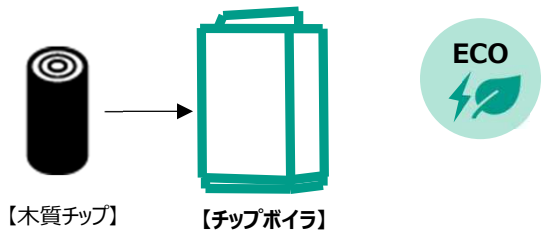
実施前

ボイラーの燃料が灯油であり、化石燃料の使用により多くのCO<sub>2</sub>を排出



実施後

地域内の低質材の木質チップの利用で環境負荷軽減

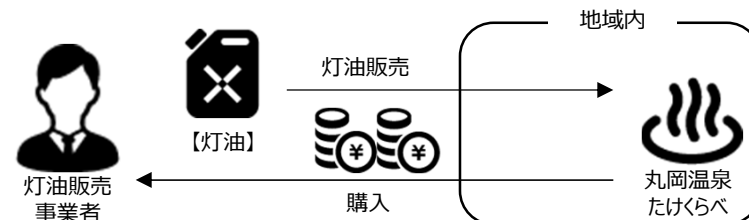


設備更新により、**環境負荷が軽減した。**

#### 地域内の循環経済の強化への貢献

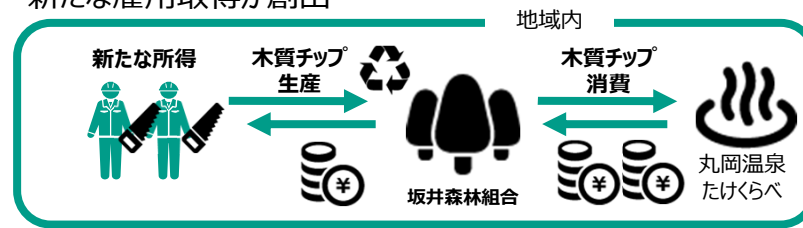
実施前

灯油を購入し地域外に資金流出



実施後

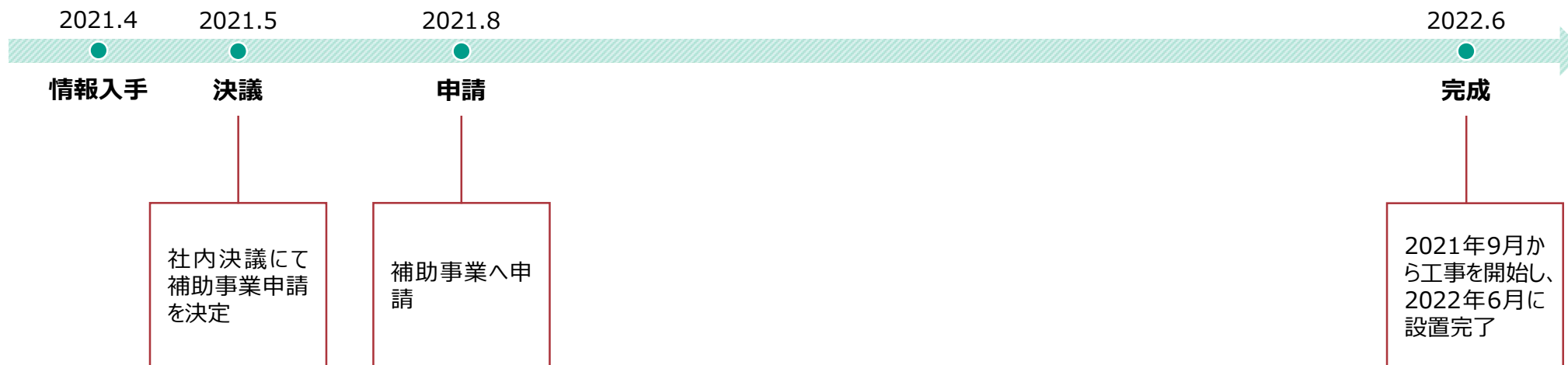
地域内の木質チップ利用でチップの売上が入り域内の循環経済、新たな雇用取得が創出



設備更新により、**地域内の循環経済の強化につながった。**

## ①チップボイラー設備への更新による施設の脱炭素化と地域の循環経済強化の両立

### 事業の経緯／今後の予定



### 事業者の声



#### 谷根 康弘

坂井市産業政策部 観光交流課長

- 補助金の活用により、温泉施設の燃料費削減およびCO2削減を図ることができました。
- 設置したチップボイラーの燃料として、地元の間伐材から作られたチップを地域の森林組合から購入しているため、経済的な好循環を生み出すことに寄与しています。